

Tsuruoka Rotary Club

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成 23 年 4 月 12 日 (火) 第 2538 回 (本年度第35回) 例会

1959 年 6 月 9 日創立 ● 例会場：東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町 2-10 ● 例会日：毎週火曜日 (12:30~13:30)

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

E-mail: tsuruoka08@rid2800.jp

本日(4/19)のメインプログラム

ゲストスピーチ

GSE メンバー 富田 信一 君

次週(4/26)のメインプログラム

月末夜例会

クラブ協議会

会長挨拶 佐藤 孝子

震災から一ヶ月。復興に向けた継続的支援を！

皆さんこんにちは！！

昨日で東日本大震災から 1 カ月が経ちました。TV の放送を見てもなかなか復興が進んでいない事が残念でたまりません。原発の問題、昨日も大きな余震があり、これからどうなるのでしょうか。本当に心配です。

先週お願い致しました義援金、鶴岡 RC の OB 中江亮様からお手紙と現金 (3 万円) を送って頂きました。別に鶴岡南 RC にも頂きました。心よりお礼申し上げます。藤川さんのご家族からも頂きました。有難うございます。今月末までにどうぞ皆さんご協力よろしくお願い致します。

鶴岡市も震災の為にいろいろな事を自粛してきましたが、4 月からは活動を開始する方向に変わりました。私達のクラブも 4 月から新しく気持ちを切り替えて被災地の皆様にパワーを送れますように活動をスタート致します。

13 日の夜 6 時半より新・旧合同理事、委員長会議を開催致します。今年度まだ 6 月末まで残って居りますが、どうぞ皆さんで意見交換をして頂けたらと思っています。大勢の皆さんのご参加お待ちしております。

本日は 4 月 2 週目吉野会員のスピーチです。どうぞお楽しみに。

5 月までのプログラムをインフォメーションに掲示してありますので御覧下さい。それでは吉野さん宜しくお願い致します。有難うございました。

幹事報告 青柳 孝治

○ガバナー事務所

・ライラ研修会中止のお知らせ

・ローターアクト臨時会議のご案内

日時：4 月 10 日 (日) 15 時～

場所：中山町東部地区多目的交流センターあさひ

・2011 学年度米山カウンセラー・米山奨学生オリエンテーションのご案内

日時：5 月 7 日 (土) 9:30～

場所：パレスグランデール

きつね面の話

吉野 隆一 君

「きつね面」は、私が子供の頃から鶴岡のほとんどのお菓子やで売っていました。いつの間にか、売っている店が少なくなりました。今後どうするか鶴岡菓子協同組合のメンバーが集まって話し合いがもたれました。不毛の話し合いに飽きてきてインターネットで、調べましたら、何と「きつねめん」の登録はなく商標取得が可能である事がわかりました。早速商標を取得。珍菓きつね面保存会を結成。「きつねめん」と名前が使えるようになり「きつねめん」で売り出しました。それから売れるようになりました。

売れる理由は、2 つあります。それは、きつね面には物語があるという事。170 年という歴史があるという事。そして今日は、その歴史と物語を少しお話しします。

三方国替え騒動

天保 11 年 11 月 1 日から翌 12 年 7 月中旬。たった 8 ヶ月という短い間に話が完結します。三方国替え



出席報告	会員数	39 名
	出席	33 名
	出席率	84.62%
	前々回確定出席率	71.79%

RI 会長 レイ・クリングスミス 地区ガバナー 塚原初男

会長/佐藤孝子 幹事/青柳孝治 会長エレクト/青柳孝治
副会長/阿部純次 会報委員会/橋渡美智子・嶺岸禮三

事務局：鶴岡市馬場町 11-63 鶴岡産業会館 3 階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

騒動が持ち上がったこの時期は、全国各地であまたの百姓一揆が発生していました。このような農民運動というのは、藩主の悪政を憎んで藩主や公儀に対して抵抗するために起こしました。

この事件の主役は、庄内の農民。城下町鶴岡の町役人や御用商人も資金面などで後方支援しました。庄内農民運動の指導者の一人、本間辰之助が「江戸へ行って、幕閣や諸侯に直接嘆願してみたらどうか」という提案をしました。そこにいた村の主だった者たちはその案に賛成し、直訴嘆願の計画を立て、誓約書を書いていました。

なぜこの運動はおきたのか？ それは、川越藩窮乏を救済するためです。川越藩主松平斉典（地元では、名君として名高い）は、將軍家斉の第53子、紀五郎（後の斉省）を養嗣子として迎えた。家斉から幕府老中首座水野忠邦へ、川越藩に有利な国替えを考えるようにとの内意が出されました。水野忠邦が目をつけたのは、寛政の改革を成功させ、「神田大黒」と異名をとるほどに裕福になった庄内藩でした。川越藩と庄内藩との国替えは、あまりにも唐突過ぎるので、長岡藩を入れた三方国替えになりました。

庄内藩主酒井左衛門尉忠器を越後長岡へ、長岡藩主牧野忠雅を武蔵川越へ、武蔵川越藩主松平大和守斉典を出羽庄内への三方領地替えを幕府は発令しました。

庄内で起こった国替え運動は、広がりを見せ、江戸は勿論の事、若年寄や大目付などの幕臣や、幕府に強い影響力をもつと考えられていた江戸の上野寛永寺、庄内近隣の仙台藩伊達家、秋田藩佐竹家、会津松平家、水戸藩徳川家などで請願運動をひろげました。

水野は、ぞくぞくと江戸に上ってくる庄内の農民たちが、早晩江戸市中を騒がせるものと見て、南町奉行矢部駿河守に指示して、庄内藩の関係者などを取り調べさせます。訊問された者の中に、庄内の農民を江戸で援助しているとみられた、遊佐町出身の佐藤藤佐がいました。佐藤は幕政の腐敗や転封令を下される理由のないことなどを強く訴え、堂々と庄内の農民が起こした阻止運動の正当性を主張し、その結果、天保12年（1841）7月12日、ついに庄内藩の長岡転封令は、水野忠邦欠席のもと、撤回が決定されたのです。

酒井公が従前どおり庄内藩にお居なりになりました。「百姓といえど、二君に仕えず」の旗印の元、統制の取れた活動の戦略をたて、目標に向かって運動（寵訴、幕府要人の懐柔、等々を展開）が結実し幕命が覆りました。

数回にわたる大寄せ（大決起集会）。この大寄せは単なる野合ではなく、統率力のある文隣というリーダーがいて、そのリーダーの下で、毅然とした姿勢で、反対運動を繰り広げたこと。川北、川南両郡の農民（鶴岡田川の農民と酒田飽海の農民）の意思が統一されて、大きな力となっていたことにあります。

この事件を契機に徳川幕府の絶対的権力が弱まっていきました。この事件から現在、庄内に住む我々が学ばなければならない事。

庄内藩郡代白井矢太夫による農政改革の成功が農民

たちの信頼を勝ち得た結果、“反対運動”が発生したと考えています。白井矢太夫がどのような改革をしたかについては、正確にはわかりませんが、とにかく農民にとって、庄内藩にとってよかった。武士にとってはつらかったと思います。白井矢太夫のイメージは、藤沢周平が描いた「風の果て」の桑山又左衛門かと思います。「庄内が一丸になれば、日本を動かす事だって出来る」この誇るべき庄内の歴史の一ページを現代に活かすべく、私達は今、真剣になって、庄内人としてのアイデンティティをどのように確立すべきか議論する必要があると思います。

委員会報告

★親睦委員会

孟宗汁家族例会のご案内

日 時：5月17日（火） 18：30～

会 場：湯田川温泉 甚内旅館

登録料：4,000円（会員） 2,000円（ご家族）

★出席委員会

○メイクアップされた方

丸山 隆志 藤川 享胤 菅原 亨 佐々木喆彦
早寄 弘 木村 節 嶺岸 禮三 西川富美子
越智 茂昭 佐藤 友行

スマイル

佐藤孝子君 吉野さんスピーチありがとうございました。

藤川享胤君 ①吉野さんスピーチありがとうございました。②8日に危篤状態に入りました91歳になる母が、少し快方に向かっております。病院スタッフの手厚い看護に感謝致します。

吉野隆一君 本日は宣伝させて頂きまして誠に有難うございました。

塚原初男君 4/9～10、佐藤事務局長、青柳クラブ幹事とRIからの災害支援物資（ウォーターサバイバルボックス）100個を受取りに成田空港まで行ってきました。御両名、佐藤組様に感謝します。

青柳孝治君 2月下旬、長岡視察に行った時川越と鶴岡の雛人形が展示され、三方国替えに関するパンフもありました。地元でもPRすべきと思いました。

鶴岡ロータリークラブ会長

佐藤孝子様

中江 亮

大変遅くなりましたが貧者の一灯、ほのかな光が罹災者のお役に立てばと思ってお送りいたしました。クラブの方針に従ってご処理下さい。

なお、お手数を掛けますが、南クラブにも同封の金子、お届け頂ければありがたいと思います。

会員の皆様のご安泰を祈り乍ら。

（中江さんは鶴岡クラブ24代会長で鶴岡南クラブの特別代表を務めました。現在東京在住。）